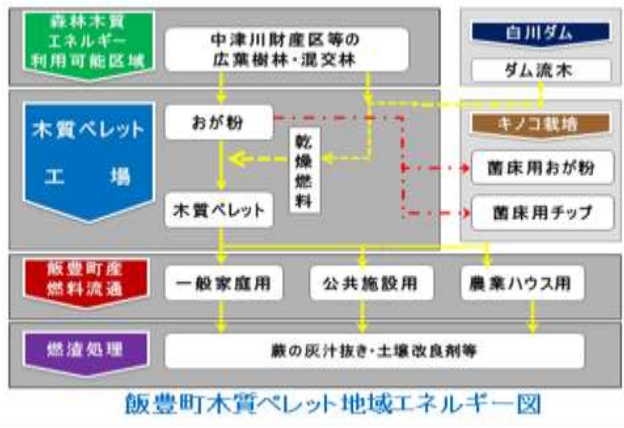


タイトル	広葉樹の特性を活かした木質バイオマスの活用	
概要	財産区有林の広葉樹を利用したペレット製造とおが粉の生産	
管理方法・技術的視点	中津川財産区が所有する里山林1万ヘクタールを年間10～15ヘクタールずつ皆伐。広葉樹材を活用しペレットや菌床用おが粉を生産する。萌芽更新による持続可能な森林経営とあわせて、ペレット400トン、おが粉4千立方メートルの生産をめざす。なお、同地区では、同おが粉を活用した菌床製造と椎茸栽培にも取り組んでいる。	 飯豊町木質ペレット地域エネルギー図 この図は、中津川財産区等の広葉樹林・混交林から木材ペレットとおが粉を生産するプロセスを示しています。木材ペレットは一般家庭、公共施設、農業ハウスで利用されます。おが粉はキノコ栽培の菌床用おが粉と菌床用チップとして利用されます。また、乾燥燃料として利用されることもあります。最終的には、薪炭林として活用されていきます。
備考	当町では2008年にバイオマスタウン構想を策定。バイオマス資源活用に取り組んでいる。かつて薪炭林として活用してきた広葉樹林とダムの流木等の未利用資源をおが粉・木質ペレット、キノコの菌床に利用するほか、町内の各種熱源に利用している。	 中津川バイオマス(株)
場所・主体	山形県飯豊町中津川財産区／中津川バイオマス(株)／やまと林産(株)他	
URL等		